

県高校総体

バスケット
神島女子が4位
金原選手が優秀選手賞



金原つかさ選手

県高校総体バスケットボール競技はこのほど、和歌山市の県立体育館、河南体育館で開かれ、神島女子が3位決定戦で敗れて近畿大会の出場権を逃した。神島3年の金原つかさ選手が優秀選手賞を受けた。優勝は男子が和歌山工業、

女子は和歌山信愛だった。

男子34チーム、女子30チームが参加した。神島女子はシード校で1、2回戦が不戦勝。3回戦で市和歌山に43―42と1点差で競り勝ち、準々決勝で耐久に70―49と快勝した。準決勝の海南戦は序盤優位に試合を進めたが、途中で逆転され47―67で敗れた。3位決定戦も和歌山北に55―77で敗れ、3位までに与えられる近畿大会出場権を逃した。

このほか、紀南関係の女子

は、田辺が準々決勝で和歌山信愛に敗れた。南部は3回戦、新翔と熊野は2回戦、新宮は1回戦で姿を消した。

男子は神島が3回戦から出場し、向陽を下して準々決勝に進んだが、新宮に敗れた。新宮は準決勝で和歌山工業、3位決定戦で初芝橋本に敗れ4位。新翔は3回戦、田辺は2回戦、熊野と田辺工業、南部、串本古座は1回戦で敗退した。

金原つかさ選手の話 近畿大会への出場権を獲得できなかったのは残念だが、ベスト4の結果を残せたのは良かった。